

## 1. 仮想化基盤利用について

### 1-1. 仮想化基盤

青森県仮想化基盤（以下「仮想化基盤」という）とは、庁内情報システムの全体最適化に向けた既存資源の有効活用及び全体コストの削減等を目的とした、行政経営課が提供する「仮想化技術を用いたハードウェアリソース」である。

### 1-2. 前提事項

仮想化基盤利用にあたり、前提事項を以下に示す。

- （１）仮想化基盤の利用に係る費用は原則無償とする。
- （２）仮想化基盤は全庁LAN環境下に設置しているため、外部ネットワークとは直接接続不可。
- （３）年に数回、計画停電及び機器メンテナンス等のため、システムの停止、起動対応が必要である。

### 2-1. 仮想マシンで利用可能な OS

仮想化基盤上で動作する仮想マシンで利用可能な OS は以下のとおりである。

表 2-1 仮想マシンで利用可能な OS

Windows 系
Windows 10（2025/10/14 サポート終了）
Windows 11
Windows Server 2016（2027/1/12 サポート終了予定）
Windows Server 2019（2029/1/9 サポート終了予定）
Windows Server 2022（2031/10/14 サポート終了予定）
Linux 系
Red Hat Enterprise Linux 8（2029/5/31 サポート終了予定）
Red Hat Enterprise Linux 9（2032/5/31 サポート終了予定）
SUSE Linux Enterprise Server 12 for AMD64 & Intel64 SP2 以上
SUSE Linux Enterprise Server 15 for AMD64 & Intel64

## 2-2. 提供可能リソース

仮想化基盤上で行政経営課が無償で提供可能なリソースは以下のとおりである。

表 2-2 提供可能なソフトウェア（令和 5 年 1 1 月時点）

No.	項目	内容
ソフトウェア		
1	Windows Server 2016 Data Center  Windows Server 2019 Data Center  Windows Server 2022 Data Center	<p>Windows Server のゲスト OS を上限なく利用可能なライセンスである。</p> <p>利用できる OS : Windows Server 2022、2019、2016 の各エディション</p> <p>媒体について、Windows Server 2019、2016、2012R2、2012 は利用可能であるが、他の OS を利用する場合は、別途媒体手配が必要である。</p> <p>注) Windows Server にはサポート終了日が設定されており、サポートが終了した Windows Server は使用不可。</p>
2	Red Hat Enterprise Linux for Virtual Datacenters (RHEL-VD)	<p>Red Hat Enterprise Linux のゲスト OS を上限なく利用可能なライセンスである。</p> <p>※Standard サポートが適用されている。</p> <p>※令和 6 年 1 月から提供可能。</p>
3	Windows Server 2016 Device CAL (7000 デバイス)  Windows Server 2019 Device CAL (7000 デバイス)  Windows Server 2022 Device CAL (7400 デバイス)	<p>行政経営課にて Windows Server 2022、2019、2016 の Device CAL をそれぞれ 7000 保有している。</p> <p>Windows Server 2022、2019、2016 を利用する場合、接続デバイス数が仮想化基盤利用システム全体で 7000 以下であれば、利用システム毎の CAL 購入は不要である。</p>

## 2－3．仮想化基盤利用システム毎に購入が必要なソフトウェア

---

仮想化基盤利用システムにて購入が必要となるソフトウェアは以下とおりである。

表 2－3 仮想化基盤利用システム毎に購入が必要なソフトウェア

購入必須
セキュリティ対策ソフトウェア
必要に応じて準備
バックアップソフトウェア ※仮想化基盤バックアップサーバによるスナップショットは有るため、必要に応じて調達すること。 運用管理ソフトウェア ジョブ管理ソフトウェア